



# 「背中で語る」選手を目指す

## 17歳の時より今の方が速い

例えば、サッカーだと上手くボールを蹴らないとゴールに入りませんが、自転車は、誰が乗ってもペダルを漕げば前に進みます。だから、多くの人は自転車を効率よく進ませる練習をすることはありませんが、経験を積んで技術を磨き、力を上手く自転車に伝えることができれば、身体的なピークを越えても、速く走ることができません。

私自身も17歳の時よりも今の方が速く走れていますし、このように長く競技を続けられる点は、自転車の魅力の一つだと思います。

## 背中で語り、後輩を育てる

主に個人種目に出場することの方が多ですが、練習はチームで行っていて、地元三河の「mkw」という実業団チームに所属しています。みんなで切磋琢磨し、互いに高



三河在住メンバーを中心に活動している実業団チーム「mkw」のメンバー。地元スポンサーも募集中！

めあって試合に臨むことができるのは、仲間の存在のおかげだと思います。また、辛い練習も仲間の存在があるからこそ乗り越えることができます。若いメンバーが増えてくるとともに、自分はチームでも年長者になってきました。自分が少しでも長く競

### 岸本伊織さん (42歳)

碧南市平七町在住  
自転車選手・エンジニア

高校から本格的に自転車競技を始め、国体出場を果たす。その後、競技から離れるも35歳で競技に復帰し、再び国体に出場する。テレビ番組「チャリダー☆快汗！サイクルクリニック」に出演中。

#### ▼所属チーム

チームmkw、ロードレース男子部(チャリダー)

#### ▼主な戦績

- ・平成28年から6年連続で愛知県国体代表
- ・2022全日本自転車競技選手権大会トラックレース(マスターズ)個人パシュートで大会新記録で優勝

#### ▼岸本伊織の自転車生活(ブログ)





# 安全意識の大切さを伝えたい

技を続け、走り続ける姿を見せることで、後輩を育てていきたいと思っています。理想は「背中で語る」ですね。自分自身の技術が上がってきて、最近やつと背中を見せられるレベルになってきたかなと思います。自分の姿を見て、周りの人たちも少しでも長く自転車が続けたいと思うてくれたら嬉しいです。

## ヘルメットが助けてくれた

35歳の時に、記憶障害を伴うほどの大ケガを負いました。走り始めてから数十mで自転車から落車し、スピードは出ていませんでしたが、ヘルメットを被っていなければ、命を落としていたかもしれませんでした。同じような経験を、他の人にして欲しくないと強く思います。

小さな子どもたちから年配の方まで、たくさんの方が自転車に乗る機会があると思います。自分がそうだったように、スピードが出ていなくても事故に遭うかもしれません。命を守るために、安全意識の大切さを伝えていきたいです。

## 高校生世代へ

これまで、少なからず他人事と感じる部分もありましたが、自分の子どもがこの4月から高校生になりました。一気に身近に感じるようになりました。小・中学生の時には、みんなヘルメットを被って自転車に乗っ

ていますが、高校生になると、途端にヘルメットを被る子が少なくなります。きつとみんながヘルメットをかぶらないからだと思います。誰にでも身近な所で事故に遭う可能性はありますし、起きてからでは遅いです。

自分自身はもちろん、大事な友人であったり、大切な人たちのことを思い浮かべながら、今一度、安全意識についてしっかりと考えてみてください。そして、きちんとヘルメットを被り、自転車を整備して、安全に乗って欲しいですね。

## いつか碧南でレース開催

現在の私があるのは、仲間の存在と家族の理解のおかげです。そして今後は自転車を通じて、自分が住んでいる碧南市に恩返しができたらと思います。自転車関連のテレビ番組出演をきっかけに、大会などで声をかけられることも増えてきましたし、昨年度は全日本チャンピオンにもなることができました。もっと活躍をして、いつかは碧南で自転車レースを開催して、たくさんの人を呼び、碧南全体を盛り上げたいですね。

## ●岸本さんの走行風景はコチラ

市広報  
YouTube  
チャンネル

